

平成18年2月の工事契約の平均落札率は 90.91%

2月契約の主な工種・契約方式別落札率一覧(速報)

工 種	件 数	平均落札率
土 木 工 事	2	88.04%
ト ン ネ ル 工 事	0	—
舗 装 改 良 工 事	3	96.70%
P C 橋 上 部 工 工 事	2	97.55%
鋼 橋 上 部 工 工 事	1	73.32%
電 気 工 事	2	88.04%
塗 装 工 事	0	—
造 園 工 事	4	90.51%
遮 音 壁 工 事	0	—
標 識 工 事	0	—
主 な 工 種 全 体	14	90.91%

中日本高速道路株式会社は、平成17年10月1日の会社発足後、250万円以上の工事については、「一般競争入札」と「条件付一般競争入札」に限定する「新入札制度」を導入しました。旧日本道路公団が策定した「談合等不正行為防止策」に基づく制度変更で、これにより、談合などの不正を生みやすいとの指摘があった「指名競争入札」を原則廃止しました。

2月においては、主な工種の契約は14件あり、平均落札率は90.91%でした。旧日本道路公団で談合が行われたとされる鋼橋上部工工事の契約は1件の契約があり、落札率は73.32%でした。

なお、対象工事は250万円以上の工事で、トンネル工事は土木工事のうち、件名にトンネルが含まれる工事をいいます。